

科目名	教師論		担当教員	山田 貞二	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED1EFE102
期待される学修成果					
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	教諭（講師を含む）				
実務経験を生かした授業内容	学校現場、教育行政両面の38年の経験をもとに、教師として生きるための根幹の軸となる、ゆるぎない「教師像」を確立させるための授業とする。学校教育の現状、課題、働き甲斐を具体的に盛り込みつつ、演習形式も盛り込みダイナミックに展開する。				
到達目標及びテーマ	学ぶ側である「生徒」の立場から、教え導く側である「教師」の「果たすべき役割」へと目を向けさせることを通して、自分の中に「目指す教師像」を確立する。最終的には、「私が先生になったとき」に続く具体的な文言を各自語りきれるようにする。				
授業の概要	現在、大学で養成教育を受けることの意味を、教員養成制度の成立過程や教員の職務や研修内容を通して理解する。特に、実践的指導力の育成、「教師の資質向上」という政策課題が叫ばれているが、教職に就いた後の自己研鑽の積み方との連続性の中で捉えた場合、大学での養成教育はその教職人生の土台となるべきものである。それを理解した上で、現在の大学での学習への取り組み方を考えていく。				

授業計画	
第1回	イントロダクション 「理想の教師とは」
第2回	教師に求められる資質①－学級づくり－
第3回	教師に求められる資質②－授業づくり－
第4回	教師の職務①－学習指導要領の背景と概要－
第5回	教師の職務②－授業改善－ GIGAスクール構想とICTの効果的な活用について
第6回	教師の職務③－教科の学習指導－
第7回	教師の職務④－評価について
第8回	教師の日常①－生徒指導
第9回	教師の日常②－授業論
第10回	子ども理解－発達を学ぶ
第11回	教育を巡る諸問題Ⅰ－いじめ・不登校
第12回	教育を巡る諸問題Ⅱ－学級崩壊
第13回	道徳教育と道徳科
第14回	教員採用選考試験の仕組みと現状、教師の職務の崇高さ
第15回	教師としての生きがい・喜び 教育DXとsociety5.0時代の学びの在り方

事前学修	教師を目指す理由、目指す教師像についての考えをブラッシュアップしておくこと。また、教育法規や学習指導要領を読んでおくこと。特別支援教育、生徒指導や進路指導、家庭や地域との連携、教師教育制度などについては、下調べをしておくこと。
事後学修	授業後半に、それぞれ関係する課題を提示するので、授業での学びを加えてノートなどに整理して、学びの振り返りをする。
フィードバックの方法	授業後にミニレポートを提出させ、記述内容を評価して返却する。最終回には、総合的なレポートを作成させ評価する。

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	80%	授業の中での振り返りを400字程度の文章にてまとめ、その内容を評価し、累積によって総合評価する。

上記以外の試験・平常点評価	20%	意図的指名により、その積極性や発言内容、全体への貢献度を評価する。
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	なし	なし	なし	なし
参考資料	「まると教師論」(玉置崇著、プラネクス) 小学校学習指導要領 中学校学習指導要領 高等学校学習指導要領 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領			

科目名	教師論		担当教員	玉置 崇	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED1EFE102
期待される学修成果					
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	教諭（講師を含む）				
実務経験を生かした授業内容	学校現場、教育行政両面の36年の経験をもとに、教師として生きるための根幹の軸となる、ゆるぎない「教師像」を確立させるための授業とする。学校教育の現状、課題、働き甲斐を具体的に盛り込みつつ、演習形式も盛り込みダイナミックに展開する。				
到達目標及びテーマ	学ぶ側である「生徒」の立場から、教え導く側である「教師」の「果たすべき役割」へと目を向けさせることを通して、自分の中に「目指す教師像」を確立する。最終的には、「私が先生になったとき」に続く具体的な文言を各自語りきれられるようにする。				
授業の概要	現在、大学で養成教育を受けることの意味を、教員養成制度の成立過程や教員の職務や研修内容を通して理解する。特に、実践的指導力の育成、「教師の資質向上」という政策課題が叫ばれているが、教職に就いた後の自己研鑽の積み方との連続性の中で捉えた場合、大学での養成教育はその教職人生の土台となるべきものである。それを理解した上で、現在の大学での学習への取り組み方を考えていく。				

授業計画	
第1回	イントロダクション 教師とは？ ＜教科書＞ 第1章 理想的な教師とは
第2回	教師の心に響く名言をもとに「理想の教師」を考える ＜教科書＞ 第1章 「教育の名言」から教師を考える
第3回	「学習指導要領」について概要をつかむ ＜教科書＞ 第2章 学習指導要領の背景を知る、社会に開かれた教育課程と学校の変化
第4回	「国語科教育」について概要をつかむ。優れた国語授業映像から学ぶ ＜教科書＞ 第2章 国語科教育をつかむ
第5回	「社会科教育」について概要をつかむ。優れた社会授業映像から学ぶ ＜教科書＞ 第2章 社会科教育をつかむ
第6回	「算数教育」について概要をつかむ。優れた算数授業映像から学ぶ ＜教科書＞ 第2章 算数科・数学科教育をつかむ
第7回	「数学教育」の授業映像から「子どもの言葉で創る授業」を学ぶ ＜教科書＞ 第2章 算数科・数学科教育をつかむ
第8回	「理科教育」について概要をつかむ。優れた理科授業映像から学ぶ ＜教科書＞ 第2章 理科教育をつかむ
第9回	「生活科教育」「音楽教育」「図画工作・美術教育」「体育・保健体育教育」「家庭、技術・家庭科教育」について概要をつかむ。優れた音楽授業映像から学ぶ ＜資料＞ 各教科の目標の変遷
第10回	「外国語活動」「外国語科」について概要をつかむ。優れた英語授業映像から学ぶ ＜教科書＞ 第2章 外国語活動・外国語科教育をつかむ
第11回	菊池省三の教育実践から学級経営について考える ＜教科書＞ 第1章 子どもと良好な関係をつくる教師、学級をつくる教師
第12回	教育課程「学級崩壊」「不登校」「いじめ」等を知り、学校体制を考える ＜教科書＞ 第3章 教育問題をとらえる 「いじめ」「学力差」「学級崩壊」「学校へのクレーム」
第13回	学習指導要領による教育、一人一台端末配備が目指す教育をつかむ ＜教科書＞ 第2章 学習指導要領に示された授業改善、ICTを活用した教育をつかむ
第14回	教員採用選考試験の仕組みと現状を知り、大学での学びの見通しと目標を持つ ＜資料＞ 教員採用試験の概要、面接映像
第15回	教師としての生きがい・喜びを考える。自己が目指す教師像を明確にする。 ＜資料＞ 大村はま「教えるということ」

事前学修	教師を目指す理由、目指す教師像についての考えをブラッシュアップしておくこと。また、指定する教科書、教育法規、学習指導要領などを読んでおくこと。特別支援教育、生徒指導や進路指導、家庭や地域との連携、教師教育制度などについては、下調べをしておくこと。
事後学修	授業後半に、それぞれ関係する課題を提示するので、授業での学びを加えてノートなどに整理して、学びの振り返りをする。
フィードバックの方法	授業後にミニレポートを提出させ、記述内容を評価して返却する。最終回には、総合的なレポートを作成させ評価する。

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
レポート	75%	毎回の授業での振り返りの内容が的を射ている
上記以外の試験・平常点評価	25%	意図的指名による発言内容、ペア、グループ活動への積極性と全体への貢献度。
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
まると教師論	玉置崇	E D U C O M	978-4-99109620-4	講義で紹介
参考資料				